



新春のご挨拶

(「フレイル」について)

(医) らぼーる新潟

(福) 豊潤舎 理事長

日本整形外科学会専門医

日本リハビリ学会認定医

新潟県医師会委員

新潟市医師会理事

荻荘 則幸

明けましておめでとうございます。
本年も宜しく願い申し上げます。

当法人の理念として「誠心誠意」を掲げ、本年も地域の皆様に安全、安心な医療、介護サービスを職員が一丸となって、提供していく所存です。

「高齢化社会」を迎え、最近ではより一層現実的な状況として「高齢社会」に突入しています。2017年9月に日本の65歳以上の人口は3500万人で、総人口比で約28%に達しました。少子高齢化ということで、ますます労働人口が減少し、高齢者は増加していきます。要介護状態になる原因の1位は老衰（フレイル）です。“生命的な寿命”と自分で動ける“健康寿命”の差をいかに縮め、要介護状態の期間を短くする。つまりフレイルにならないように心身機能を高めるため、当法人はリハビリを主眼に訪問リハビリ、運動器リハビリ、通所リハビリ、障がい者リハビリを過去20年間つぎつぎと積極的に推し進めてきました。

日本老年医学界では、フレイルは早期に発見し適切なりハビリを行うことにより再び健全な状態に戻ることができ、生活機能の維持、向上を図れるとしています。家族や周りの専門職がいかに早くフレイルの状態に気づき、対応することにより要介護状態に至る危険性を減らせる可能性があります。早期発見のためには、体重減少、疲れやすい、歩く速度の低下、握力の低下、身体活動量の低下が挙げられます。少しでも上記の項目で気になることがあれば早めにご相談ください。

職員一同、皆様の“健康寿命”の延伸に向けて頑張ります。